

(一社)奈良県臨床心理士会

2025年度 通年研修 第2回

『ひきこもり当事者やその家族は “支援”に何を求めているのか』

ひきこもりをめぐる支援は、行政・医療・福祉・教育など多様な領域が関わる中で、臨床心理士の専門性が求められる場面も少なくありません。

本研修では、今年度、当会が奈良県より委託を受けて実施しているひきこもり支援事業や、これまでの実践ケースをもとに、ひきこもり当事者やその家族に対して、臨床心理士としてどのようなかわりができるのかを、参加者の皆さまと一緒に考える機会としたいと考えています。PCAGIP法を用いた事例検討も実施予定です。

また、これまでもひきこもり支援に関わってこられた方々は多くいらっしゃると思いますが、あまり共有の機会が多くなかったように思われます。本研修が、そうした支援者同士のつながりをつくる機会にもなれば幸いです。

日時：2025年8月31日(日) 13:30～17:00

会場：中部公民館 4階奥 第4講座室

(近鉄奈良駅より徒歩約5分／JR奈良駅より徒歩約15分
三条通とやすらぎの道の交差点よりやや北)

講師：坂崎理史先生 (当会ひきこもり支援担当)

事例提供：野阪典子先生 (訪問相談員)

対象：正会員・準会員 無料

会員でない臨床心理士 1,000円

※通年研修は全6回のうち5回以上参加の場合、臨床心理士資格更新の4ポイントを申請予定です

申込：Googleフォームより 締切：8月28日(木)

<https://forms.gle/mLHRpeeuWq1ZbF8h9>



お問合せ：通年研修部 (担当：坂崎) nscpp.tsunen@gmail.com